

食品安全委員会の11月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第354回 11月4日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

添加物(2品目)	<i>trans</i> -2-ペンテナール、イソキノリン
遺伝子組換え食品等(2品目)	①チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシBt11系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t. Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統とチョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシGA21系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種(既に安全性評価が終了した8品種を除く) ②BR151(pUAQ2)株を利用して生産された6- α -グルカノトランスフェラーゼ

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬(1品目)	クロルピリホス
---------	---------

(3) 食品安全委員会の10月の運営について事務局から報告

(4) 食品安全関係情報（10月9日～10月22日収集分）について事務局から報告

第355回 11月11日（木）

(1) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

遺伝子組換え食品等 専門調査会(1品目)	GLU-No.3株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム
-------------------------	----------------------------------

第356回 11月18日（木）

(1) 食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときについて（照会）

- ・「食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第1食品の部 D 各条の「即席めん類」の酸価及び過氧化物価の測定法を削除すること」は、食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することが確認された

(2) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬(17品目)	シアゾファミド、シエノピラフェン、シフルフェナミド、フルジオキシニル、チアクロプリド、ファモキサドン、イマザリル、ジフルフェンゾピル、ジメチピン、トリアスルフロン、パラチオン、ピリミジフェン、ビンクロゾリン、プロピコナゾール、ホセチル、モノクロトホス、テルブホス
----------	---

(3) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

添加物専門調査会 (2品目)	6, 7-ジヒドロ-5-メチル-5 <i>H</i> -シクロペンタピラジン、ピラジン
-------------------	---

(4) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

かび毒・自然毒等 (自ら評価案件)	デオキシニバレノール及びニバレノール
----------------------	--------------------

(5) 食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果（平成22年9月末時点）について事務局から報告

(6) 食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件の点検・検討に係るファクトシートの作成について

- ・「フラン」のファクトシートについて事務局から報告後、委員会のホームページで公表することとなった

(7) 食品安全関係情報（10月23日～11月5日収集分）について事務局から報告

第357回 11月25日（木）

(1) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

添加物専門調査会 (1品目)	3-メチル-2-ブテナール
遺伝子組換え食品等 専門調査会(1品目)	チョウ目害虫抵抗性ダイズMON87701系統

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

遺伝子組換え食品 等(1品目)	pGlu株を利用して生産されたグルカナーゼ
飼料添加物(1品目)	エフロトマイシン

- (3) 食品安全モニターからの報告（平成22年9月分）について事務局から報告
- (4) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成22年10月分）について事務局から報告
- (5) 小泉委員長から、年末年始には「おもち」を食べる機会が増えるため、窒息事故が増えることが心配されるので、食品による窒息防止について注意喚起をしてはどうかとの提案があり、ホームページ等で周知することとなった

2. 高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するワーキンググループ

第2回 11月19日（金）

- ・高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性について、厚生労働省から提出された資料及び「現在までの知見のまとめ（たたき台）」について審議を行い、現在までの試験、文献等のデータに基づき評価を進めていくこととなった

3. 専門調査会の運営

（1）添加物専門調査会

第90回 11月12日（金）

- ・「*trans*-2-ペンテナール」についての審議は、次回以降に持ち越しとなった
- ・「イソキノリン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件候補の選定について、事務局から説明後、審議した結果、添加物専門調査会の意見として、取りまとめることとなった

（2）農薬専門調査会

第3回 評価第四部会 11月2日（火）※非公開

- ・「グリホサート」について調査審議し、継続審議となった

第4回 評価第三部会 11月17日（水）※非公開

- ・「グリホサート」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上で、幹事会への報告については、グリホサートに関する評価が全て終了した後、行うこととなった

第68回 幹事会 11月29日（月）

- ・「フルオピコリド」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「フルトリアホール」について検討の結果、評価第三部会において調査審議することとなった
- ・「フルフェナセット」について検討の結果、評価第一部会において調査審議することとなった
- ・評価部会から幹事会に検討を依頼された案件について審議が行われた
- ・「食品健康影響評価における暴露評価対象物質に考え方～当面の方針～」については、次回以降に持ち越しとなった
- ・農薬専門調査会における評価書評価の考え方（案）については、次回以降に持ち越しとなった

第4回 評価第二部会 11月29日（月）※非公開

- ・「アバメクチン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、幹事会に報告することを決定
- ・「スピロジクロフェン」について調査審議し、継続審議となった

（3）微生物・ウイルス専門調査会

第16回 11月30日（火）

- ＜リスクプロファイル（二枚貝におけるA型肝炎ウイルス、鶏肉におけるサルモネラ属菌）の更新について＞
- ・二枚貝におけるA型肝炎ウイルスのリスクプロファイル更新案について、一部修正の上、食品安全委員会に報告することが了承された
- ・鶏肉におけるサルモネラ属菌のリスクプロファイル更新案について、担当専門委員において修正案を作成することとなった
- ＜ファクトシート案への意見聴取について＞
- ・二つのファクトシート（案）（ウエストナイル熱、ニパウイルス感染症）について加筆・修正意見が出され、事務局にて修正することとなった

（4）遺伝子組換え食品等専門調査会

第86回 11月16日（火）※非公開

- ・「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB t 1 1系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB. t. C r y 3 4 / 3 5 A b 1 E v e n t D A S - 5 9 1 2 2 - 7系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシM I R 6 0 4系統とチョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1 5 0 7系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシG A 2 1系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した8品種を除く。）」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「チョウ目害虫抵抗性ワタC O T 6 7 B系統（食品・飼料）」及び「B R 1 5 1（p U A Q 2）株を利用して生産された6- α -グルカノトランスフェラーゼ」について調査審議し、継続審議となった
- ・「チョウ目害虫抵抗性ダイズM O N 8 7 7 0 1系統（食品・飼料）」について調査審議し、評価書（案）を食品安全委員会に報告することを決定

（5）新開発食品専門調査会

第70回 11月24日（水）※非公開

- ・「ポリフェノール茶」及び「リプレS」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「大人ダカラ」について調査審議し、継続審議となった
- ・食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件候補の選定について、事務局から説明し、議論された

4. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

食の安全を科学する「サイエンスカフェ」第7話

11月5日（金）＜東京都中央区＞

- ・群馬県との共催により開催
- ・食品安全委員会見上委員長代理から、様々な病原体の特徴、感染の仕組、人獣共通感染症の不思議について話題提供を行った後、参加者の皆さんから疑問や意見を自由にカードに書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施

ジュニア食品安全ゼミナール（徳島県）

11月8日（月）＜徳島県阿南市＞

- ・徳島県との共催により開催
- ・阿南市立阿南第二中学校1年生を対象として、5人1チームに分かれて副読本「科学の目で見る食品安全」を基にしたクイズを行った後、参加生徒と食品安全委員会の見上彪委員長代理との意見交換を実施

食品のリスクを考えるサイエンスカフェ（徳島県）

11月9日（火）＜徳島県徳島市＞

- ・徳島県との共催により開催
- ・徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所の田中昭人氏から、農産物に残留している農薬について、実際の検出事例を交えながら話題提供を行った後、参加者の皆さんから疑問や意見を自由にカードに書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施

食品のリスクを考えるワークショップ（愛媛県松山市）

11月12日（金）＜愛媛県松山市＞

- ・愛媛県、松山市、愛媛農政事務所との共催により開催
- ・食品安全委員会事務局から、主に「食品健康影響評価のためのリスクプロファイル～食品中のノロウイルス～」の内容について情報提供を行った後、参加者が小グループに分かれてのグループワーク、参加者全体での意見交換を実施
- ・意見交換の最後には、参加者全員で手洗いを実演

食品のリスクを考えるサイエンスカフェ（さいたま市）

11月16日（火）＜埼玉県さいたま市＞

- ・さいたま市との共催により開催
- ・さいたま市から同市による残留農薬に係るリスク管理の取組について解説し、食品安全委員会の廣瀬委員から、農薬の安全性確保の仕組、一日摂取許容量（ADI）、農薬のリスク評価の進め方などについて話題提供を行った後、参加者の皆さんから疑問や意見を自由にカードに書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施

食品のリスクを考えるサイエンスカフェ（滋賀県）

11月26日（金）＜滋賀県大津市＞

- ・ 滋賀県との共催により開催
- ・ 食品安全委員会の廣瀬委員から、農薬の安全性確保の仕組、一日摂取許容量（ADI）、農薬のリスク評価の進め方などについて話題提供を行った後、参加者の皆さんから疑問や意見を自由にカードに書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施

（２）講師等派遣

- ・ 地方公共団体企画や各種団体企画の講演会等へ委員が講師として参加した

月 日	講演会名	対応委員
11月19日	関西地域健康長寿産業集積活性化活動事業「健食同源に繋がる食の安全安心科学・技術の更なる発展を目指して」	小泉委員長
11月20日	札幌市食の安全・安心体感フェア・サイエンスカフェ	村田委員